

第41期株主通信

平成19年4月1日から
平成20年3月31日まで

株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月に開催
基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要ある場合は、あらかじめ公告して定める一定の日
公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.consec.co.jp>) に掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号大阪三菱ビル
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 電話（通話料無料）0120-094-777
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
 野村證券株式会社 本店および全国各支店
単元未満株式の買取請求および売渡請求 単元未満株式の買取請求および売渡請求は、上記株主名簿管理人事務取扱場所および取次所にて受付けております。
 なお、株式会社証券保管振替機構をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出下さい。

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話（通話料無料）0120-244-479（本店証券代行部）
 0120-684-479（大阪証券代行部）
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



ホームページアドレス <http://www.consec.co.jp>

CONSEC 株式会社コンセック

時代のニーズに応える技術で 次世代の世界へ飛翔します。

CONTENTS

株主の皆様へ	1
グループ企業紹介	3
トピックス	4
連結財務情報	5
連結財務データ	7
単独財務情報	8
株式の状況	9
会社の概況	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第41期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告をかね、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における我が国の経済は、輸出企業を中心に民間設備投資が堅調に推移する等上半期は概ね緩やかな回復基調となりましたが、下半期は米国のサブプライムローン問題による世界的な金融市場の悪化の影響が顕著になる中、景気減速の懸念が増大し、設備投資、個人消費とも低迷いたしました。一方で原油をはじめとする原材料価格は高騰し、そのために各種製品・部品の生産価格や市場流通価格にも混乱が生じ不安が拡大いたしました。

当社が関連する建設土木業界におきましても、改正建築基準法の厳格化に伴い、住宅着工件数が前年を大きく下回る等関連する住宅資材や周辺機器の出荷が減少し、需要が低水準で推移する厳しい状況が続きました。このような環境の中で当社グループといたしましては、低価格切削関連製品の市場投入や、業界初となる鉄筋センサー付自動切削機を新発売する等独自の戦略で建物のリニューアル市場分野の需要獲得に努め、応用面においても、ダイヤモンド工具を用いた解体工法に独自の施工技術基盤を拡大してまいりました。また介護事業やIT関連事業等グループ企業における連携強化を推進し、組織的営業力の強化に努めてまいりました。

この結果、当期の決算概況は以下のとおりとなりました。

区 分	第41期 (当期)	第40期 (前期)	対前期 増減率
売 上 高 (連結)	10,016百万円	10,265百万円	△ 2.4%
営 業 利 益 (連結)	162百万円	236百万円	△31.6%
経 常 利 益 (連結)	136百万円	277百万円	△51.0%
当期純利益 (連結)	35百万円	116百万円	△69.7%

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。

売上高におきましては、この結果、当連結会計年度の売上高は100億16百万円（前期比2.4%減）となりました。利益面におきましては、激しい価格競争の中、徹底したコ

スト削減や販売管理費の圧縮に努めてまいりましたが、売上高の減少による利益の低下を補うに至らず、営業利益は1億62百万円（前期比31.6%減）、経常利益は1億36百万円（前期比51.0%減）となり、当期純利益は35百万円（前期比69.7%減）となりました。

事業区分別売上高の概況は以下のとおりとなりました。

事 業 区 分	第41期 (当期)	第40期 (前期)	対前期 増減率
切 削 機 具 事 業	3,505百万円	3,608百万円	△2.9%
特 殊 工 事 事 業	1,486百万円	1,407百万円	5.7%
建 設 ・ 生 活 関 連 品 事 業	3,744百万円	4,004百万円	△6.5%
そ の 他 の 事 業	1,282百万円	1,246百万円	2.9%
合 計	10,016百万円	10,265百万円	△2.4%

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。

【切削機具事業】

海外子会社への生産移管が進んだため、低コスト製品機種による買い替え需要が増え、全体としては、改修リニューアル工事向けの自動コアドリル、ワイヤーソーおよび周辺機器類の販売は順調に推移しましたが、ビット・ブレード等のダイヤモンド切削消耗資材の売上が減少し、売上高は35億5百万円（前期比2.9%減）となりました。

【特殊工事業】

アンカー工事やボンド工事等一般工事は減少しましたが、ダイヤモンドワイヤーソーによる独自の切断施工技術の向上により、鉄鋼構造物改修等の需要が拡大し、売上高は14億86百万円（前期比5.7%増）となりました。

【建設・生活関連品事業】

改正建築基準法の厳格化により住宅資材の出荷が低下した影響で全般的に建設資材の売上が低迷したことで景気後退不安による個人消費の冷え込みにより生活関連機器販売が伸びず、売上高は37億44百万円（前期比6.5%減）となりました。

【その他の事業】

電算システムソフトウェア受託開発事業や民間設備投資に支えられていた自動制御盤・配電盤等の製作販売事業は後半に民間設備投資の減速によりやや後退しましたが、介

護事業は24時間介護付居宅型老人ホームが順調に軌道に乗り拡大増加したことにより、売上高は12億82百万円（前期比2.9%増）となりました。

次期の見通しにつきましては、世界的な金融不安が広がる中、米国経済・アジア経済の減速の影響を受け、当面の景気情勢も鈍化するものと予想されます。一方、国内においても原油高騰による原材料の値上げに続き諸物価の上昇が懸念される等、先行き見通しの不透明感から個人消費や投資意欲は減退するものと予想され、予断を許さない状況が続くと思われます。建設土木業界におきましては、改正建築基準法の厳格化による工期遅れは徐々に解消されると期待できるものの、建築コストの上昇・受注競争の激化が予想され、厳しい状況に推移するものと予想されます。

このような中、当社グループといたしましては、自社製品の中国生産移管を一層高め低価格製品による徹底した市場拡販を促進し、シェアの拡大と収益力の向上を図ってまいります。また、特殊工事業におきましては、建物リニューアル分野における改修・解体工事に独自のダイヤモンド工具を応用した施工技術の普及を全国に展開し、新規需要の獲得を図ってまいります。また、介護事業におきましては居宅介護施設および高齢者向け賃貸住宅の運営を順次拡大推進してまいります。さらに、海外の当社グループ企業との技術的・営業的シナジー効果を高め、収益力向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

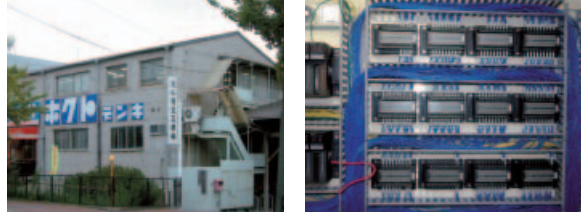
平成20年6月



代表取締役社長

佐々木秀隆

北斗電気工業株式会社



大型運搬機器や汎用ボイラなど、機械装置の頭脳ともいえる制御盤のシステム構築を中心に、幅広い分野で独自の発想と卓越したノウハウで時代のハイテク技術にお応えしております。

株式会社サンライフ



広島県尾道市に鉄骨造3階建、全室個室で入居定員45名の24時間介護付住宅型有料老人ホームを新設いたしました。

南通康賽克工程工具有限公司



中国・江蘇省南通市のダイヤモンド切削機具生産の工場では、主力商品のコアドリルの生産移管を高めており、コストダウンに効果が出てきております。

株式会社サン・ホクト



各種製缶・板金・自動制御盤・配電盤等箱体の製作およびパンチングマシンによる精密板金加工を行っております。

株式会社デンサン



ソフトウェアの「受託開発」を専門とし、技術と業務スキルを駆使し、お客様の多種多様なニーズに応えるべく「お客様のためのシステム作り」を主眼にソフトウェア開発を行っております。

祥建企業股份有限公司



台湾における当社製品の卸売、特殊工事のアドバイザー業務、機械部品等の輸出入業務、原油タンクの補修工事・防煙ガラスの据付工事等を行っております。

コアドリル用自動送り装置に鉄筋センサ機能を搭載

◎EHAC-130Aに「鉄筋センサ機能」を追加しました。

2004年2月より発売開始した「EHAC-130A」の基本性能は残したまま、新たに「鉄筋を検知し自動停止させる機能」を追加しました。

熟練を要する切削工程で、新開発の鉄筋検知ソフトがコンクリート内の鉄筋を検知すると、瞬時にコアドリルを停止することによって作業ミス・ロスを大幅に軽減する事が可能になりました。

当社製のすべての電動コアドリルに搭載可能で、さらに以前、購入されたEHAC-130Aにも「鉄筋センサ機能のソフト」をインストール可能です。



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	
		当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		5,165	5,978
固定資産		6,717	6,807
資産合計		11,882	12,785
(負債の部)			
流動負債		3,336	3,911
固定負債		465	717
負債合計		3,801	4,629
(純資産の部)			
株主資本		8,084	8,096
資本金		4,090	4,090
資本剰余金		3,965	3,965
利益剰余金		82	93
自己株式	△	54	△ 52
評価・換算差額等	△	106	△ 26
その他有価証券評価差額金	△	112	△ 31
為替換算調整勘定		6	5
少数株主持分		103	86
純資産合計		8,081	8,156
負債、純資産合計		11,882	12,785

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	
		当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高		10,016	10,265
売上原価		7,756	8,026
売上総利益		2,261	2,239
販売費及び一般管理費		2,099	2,003
営業利益		162	236
営業外収益		61	62
営業外費用		87	21
経常利益		136	277
特別利益		1	0
特別損失		7	11
税金等調整前当期純利益		129	267
法人税、住民税及び事業税		119	45
法人税等調整額	△	27	99
少数株主利益		3	7
当期純利益		35	116

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	
		当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		312	498
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 235	△ 184
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 285	△ 118
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 1	1
現金及び現金同等物の増加額		△ 209	198
現金及び現金同等物の期首残高		943	746
現金及び現金同等物の期末残高		734	943

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

連結株主資本等変動計算書

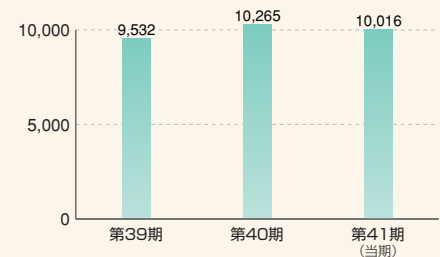
(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

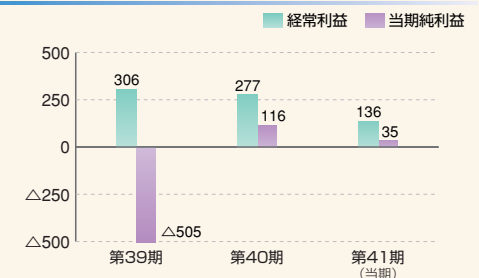
	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日 残高	4,090	3,965	93	△ 52	8,096	△ 31	5	△ 26	86	8,156
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 46		△ 46					△ 46
当期純利益			35		35					35
自己株式の取得				△ 1	△ 1					△ 1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 81	1	△ 80	17	△ 63
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 11	△ 1	△ 12	△ 81	1	△ 80	17	△ 75
平成20年3月31日 残高	4,090	3,965	82	△ 54	8,084	△ 112	6	△ 106	103	8,081

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

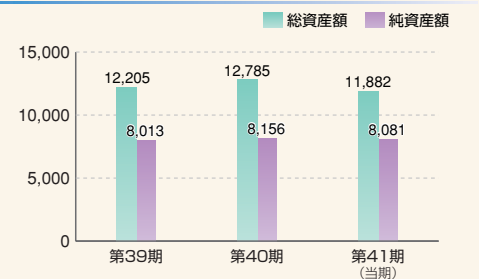
売上高 (単位:百万円)



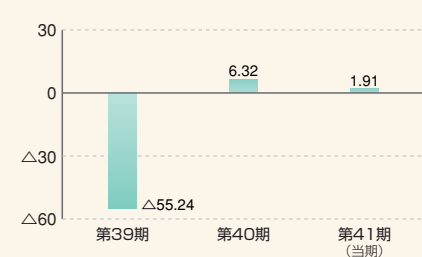
経常利益/当期純利益 (単位:百万円)



総資産額/純資産額 (単位:百万円)

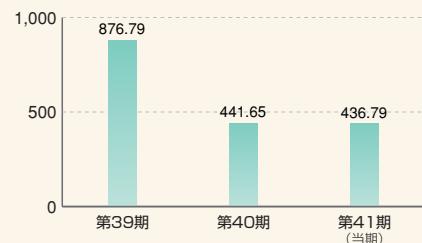


1株当たりの当期純利益 (単位:円)



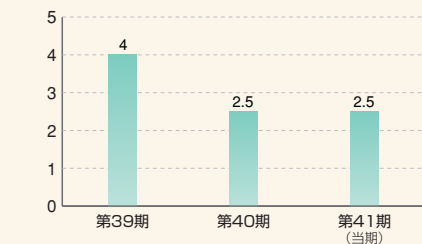
(注) 平成18年4月1日付にて1株を2株に分割しております。

1株当たりの純資産額 (単位:円)



(注) 平成18年4月1日付にて1株を2株に分割しております。

1株当たりの配当金 (単位:円)



(注) 平成18年4月1日付にて1株を2株に分割しております。

単独貸借対照表

科目	期別	(単位:百万円)	
		当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		4,467	5,323
固定資産		6,810	6,884
資産合計		11,276	12,207
(負債の部)			
流動負債		2,935	3,550
固定負債		361	579
負債合計		3,295	4,129
(純資産の部)			
株主資本		8,093	8,112
資本剰余金		4,090	4,090
利益剰余金		3,965	3,965
自己株式		△ 54	△ 52
評価・換算差額等		△ 112	△ 33
その他有価証券評価差額金		△ 112	△ 33
純資産合計		7,981	8,078
負債、純資産合計		11,276	12,207

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

単独損益計算書

科目	期別	(単位:百万円)	
		当期 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)	前期 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
売上高		8,563	8,835
売上原価		6,620	6,861
売上総利益		1,944	1,974
販売費及び一般管理費		1,805	1,758
営業利益		139	217
営業外収益		56	49
営業外費用		75	15
経常利益		120	251
特別利益		1	—
特別損失		6	3
税引前当期純利益		114	247
法人税、住民税及び事業税		98	42
法人税等調整額		△ 12	97
当期純利益		28	108

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

単独株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金 繰越利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他		
		資本 準備金	その他 資本剰余金						
平成19年3月31日 残高	4,090	3,552	413	108	△ 52	8,112	△ 33	8,078	
事業年度中の変動額									
剰余金の配当				△ 46		△ 46		△ 46	
当期純利益				28		28		28	
自己株式の取得					△ 1	△ 1		△ 1	
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)							△ 79	△ 79	
事業年度中の変動額合計	—	—	—	△ 17	△ 1	△ 19	△ 79	△ 97	
平成20年3月31日 残高	4,090	3,552	413	91	△ 54	8,093	△ 112	7,981	

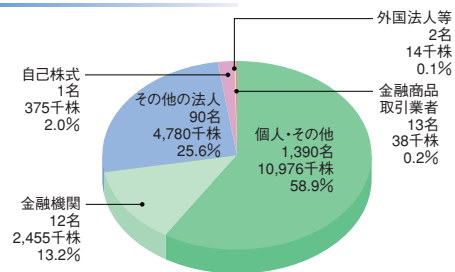
(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

発行可能株式総数 28,600,000株
 発行済株式の総数 18,640,112株
 株主数 1,507名
 大株主

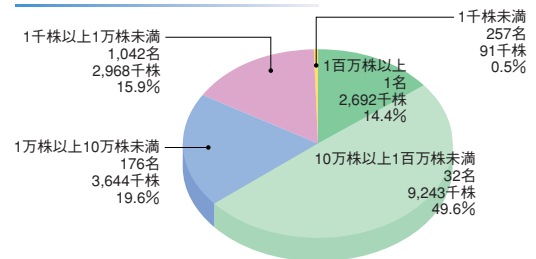
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本鉱泉株式会社	2,692千株	14.7%
佐々木 秀 隆	910	4.9
コンセック従業員持株会	781	4.2
佐々木 サトエ	776	4.2
株式会社もみじ銀行	583	3.1
株式会社損害保険ジャパン	434	2.3

(注) 出資比率は発行済株式の総数から自己株式(375,214株)を控除して計算しております。

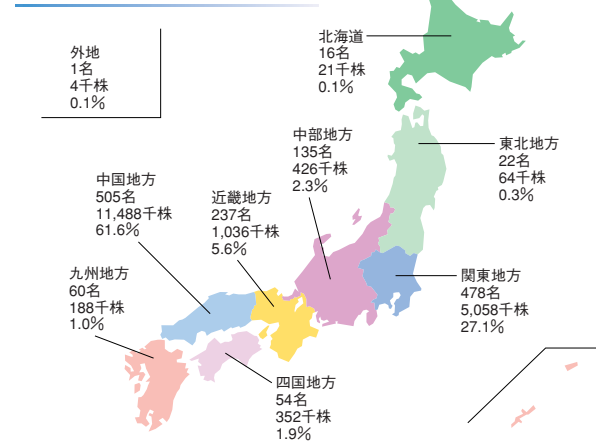
所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



地域別株式分布状況



会社の概要

社名 株式会社 コンセック
 (CONSEC CORPORATION)
 本社所在地 広島市西区商工センター四丁目6番8号
 TEL (082) 277-5451 (代表)
 設立 昭和42年11月6日
 資本金 40億90百万円
 従業員数 連結: 387名 単独: 244名
 ホームページ <http://www.consec.co.jp>
 連結子会社 祥建企業股份有限公司(台湾・三重市)
 北斗電気工業株式会社(広島県呉市)
 株式会社サン・ホクト(広島県呉市)
 南通康賽克工程工具有限公司(中国・江蘇省南通市)
 株式会社サンライフ(広島市西区)
 株式会社デンサン(広島市南区)

主な事業内容 当社グループは次の物品の製造および仕入販売、コンクリート特殊工事ならびに不動産施設の賃貸等を行っております。

〔切削機具事業〕
 穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品、特注機、切削関連機具等

〔特殊工事業〕
 アンカー工事、コアボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事、ジベル工事等

〔建設・生活関連品事業〕
 建設機械・工具、建設資材、住宅・OA機器、生活関連機器等、不動産施設賃貸

〔その他の事業〕
 自動制御盤、配電盤、製缶、精密板金加工、介護サービス、ソフトウェアの受託開発等

ネットワーク

支店 東京、大阪
 営業所 札幌、仙台、横浜、名古屋、岡山、広島、高松、福岡、他22ヶ所
 工場 広島工場
 物流センター 広島配送センター

役員

代表取締役社長 佐々木 秀 隆
 取締役 吉本文雄
 取締役 千田 稔
 取締役 福田 多喜二
 取締役 原田 文栄
 取締役 三中 達雄
 常勤監査役 國本 純 男
 監査役 加藤 公 敏
 監査役 中元 正 彦